

# 休止施設届出書 記入例

※「休止施設」として届出できるのは、算定期間末日より6月以上前から、事業活動を継続している施設から明確に区画されて閉鎖された状態(P18.55.56参照)であることが必要です。また、用途を変更した場合は休止として取り扱うことはできません。(例:工場から倉庫に変更したなど)

(事業所税用)

## 休止施設届出書

○ 年 ○ 月 ○ 日

(宛先) 春日井市長

申 告 者	氏名又は名称	〇〇株式会社	
	法人の代表者氏名	代表取締役 春日井 太郎	
	住所又は所在地	〒460-〇〇〇〇 名古屋市中区栄●丁目●番●号 TEL 052-〇〇〇-〇〇〇〇	
	この届出に应答する担当者の氏名	総務課経理係 高蔵寺 花子 TEL 0568-〇〇-〇〇〇〇	

以下のとおり、休止施設の状況について届け出ます。

事業所の名称	春日井支社		
所在地	〒486-〇〇〇〇 春日井市鳥居松町〇丁目〇番地		
家屋の延べ床面積	8,215.04 m <sup>2</sup>	休止施設の面積	150.00 m <sup>2</sup>
休止の理由及び施設の状況(できるだけ具体的にご記入ください。)			
業務縮小に伴い、〇〇年6月30日に倉庫部分の一部の使用を停止しました。それ以降、使用していない倉庫の一部を床に固定したパーテーションで囲い、閉鎖しています。			

休止する施設の名称(〇〇工場など)、所在地を記載してください。

休止する施設の事業所床面積および休止部分の該当面積を記載してください。

休止施設となった年月日、休止の理由および施設の状況をできるだけ具体的に記載してください。